

おもひであるばむ

古河の風景——



昭和31年、冬。

鍛冶町踏み切り。向こうに、駅のプラットフォームが見える。高度成長と共に、列車の本数が増えてくると、“開かずの踏み切り”といわれ、鉄道高架の機運が高まる。

撮影 鈴木路雄氏

古河市在住の鈴木路雄氏が、2005年の三市町村合併による新しい古河の誕生に際し、ふるさと古河の記憶を留めるために発行された写真集「古河の風景」から、鈴木氏の了解を得て掲載させていただいています。

『お手持ちの古い写真をご提供ください』

古河の歴史が写っているお写真をお持ちでしたら、ぜひこのコーナーでご紹介させてください。ご提供いただいたお写真は返却いたします。広報誌「ゆうあい」担当までお問い合わせください。

TEL.0280-97-3000